

平成30年度 橿原市環境審議会会議録

日 時 : 平成30年7月31日(火) 午後2時00分～3時40分

場 所 : 橿原市役所分庁者(ミグランス)2階 会議室A

出席委員 : 久委員、遊津委員、森本委員、西村委員、上田委員、小西委員、梅本委員、
諫原委員

欠席委員 : 槇村委員、米田委員

事務局 : 森寫部長
井上課長、妹尾課長補佐、浅田統括調整員、大塚主査(環境衛生課)

傍聴人 : なし

議 題 : 橿原市環境総合計画の進捗状況について

【事務局：司会】

本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。橿原市環境衛生課長補佐の妹尾でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

橿原市環境総合計画の策定以降、平成25年度から平成29年度までにこの環境審議会委員の方々に進捗状況を報告し、ご意見をいただきました。今回は平成29年度実施分の施策に対する評価をしていただく場となっております。本来であれば年度当初に開催すべきところこの時期になりましたことお詫び申し上げます。

本日、米田委員、槇村委員が欠席とご連絡いただいておりますので報告いたします。2名欠席でございますが、橿原市環境審議会規則により、本審議会が成立することをご報告いたします。

開催にあたりまして、お手元に置いております資料の確認をして頂きたいと思います。

(資料の確認)

開会の前に皆様にご承認いただきたいのですが、当審議会の議事録作成のためICレコーダーにて録音させていただいております。また、情報公開の原則によりまして、傍聴の自由を認めております。また、記録用の写真を撮影させていただきますことをご了承ください。

◎開会

【司会】

ただ今より、平成30年度橿原市環境審議会を開催させていただきます。

始めに森寫環境づくり部長よりご挨拶いたします。

【事務局】

(挨拶および新沢千塚古墳群 龍の広場紹介)

【司会】

橿原市環境審議会規則第4条には会長が審議会の議長となる記載があります。次第に従いまして会長であります久委員に進行をお願いいたします。

【議長】

昨年度の審議会の時期が少し遅かったこともあり、今年度はこの時期に開催することとなりました。

それではさっそくですが資料1・2・3の主要施策の取り組み状況について事務局から報告願います。

【事務局】

■環境総合計画概要版について説明

【事務局】

■基本目標を実現するための主要施策の取組状況について（資料1・2・3）

【議長】

ありがとうございました。

ただいまのご報告につきまして、何かご質問ありますでしょうか。

私から資料3の環境状況の評価はそれなりに頑張っているように思います。D評価は残っていますが全体的に見ると90%以上の施策で動きがあり、環境指標の状態も良いので順調に頑張っていると考えてよろしいですか。

（各委員からの異議はありませんでした。）

細かいところでも結構ですし、気になるところ、後期はこういうところを期待しますなど何かございませんか。

全体として環境衛生課としての取組については良く頑張っていると思いますが、他部署との連携を頑張っていたきたい。例えば財政面で言うと環境配慮よりもコストが安いものを選ぶということがあるので、市役所ぐるみで環境への取組を進めていただくということが後期の一つの目標となるところです。

報告の中に公園の剪定枝の利用が進めていないとありましたが、豊中市は環境の取組は全国的なモデルとなっていまして、豊肥（とよっぴー）という商品をつくりまして、堆肥なのですが、その元は給食センターから出る食品残渣と公園などの剪定枝を混ぜて堆肥化して販売されています。販売はアジェンダ21という市民環境団体がを行い、活動費用の一部となっています。複数の部署が協力し合いながら実施しています。学校給食としては生ごみの処分に悩んでいた、公園管理者も剪定枝を活用できないか探っていたところを環境部局がうまくコーディネートして堆

肥化へもっていつています。こういうコーディネートがうまくいくことでさまざまなものが良い方向に動くことを期待していますので、参考にさせていただきながら可能性を検討してください。

【委員】

電気自動車の普及というのがヨーロッパなどでは進んでいます、橿原市は観光部門でミチモが導入されていますが、私は2回しか走っている姿をみていないので、その利用状況はわかりますか。

【事務局】

今は環境で詳細なデータ持っていません。しかしながら、予算がつかなかったことで1年間動かせなかったということがありました。また、ミチモは冷暖房がありませんので季節を選ぶことになります。

【委員】

私は電気自動車もハイブリッドも乗ってはいませんが、全国的にステーションの設置は進んでいないように思いますが、台数が少ないから普及しないのでしょうか。

【議長】

大阪の状況では事業者が持っている駐車場のスペースに設置されています。公共だけで整備するのは限界がありますので、駐車場を持つ事業者の協力により充電ステーションを増やすことになるかと思います。

【委員】

報道によりますと2050年に日本もガソリンをなくす方向に持っていくとのことで、将来的にもっと早くなるようにも思います。奈良県ではカーシェアリングは意識の高い人の間で結構進んでいます。奈良市や県がシェアリング自転車を広げようという流れがあります。自治体が進めると大変なので企業主体で進めています。スマートグリーンモバイルでしたか小型の電気自動車の普及を国交省が目指しています。ミチモは2回乗りましたがやはり暑かったです。

最近災害が多いのですが、河川沿いの自転車道の整備など県レベルのものは実施できていないと報告がありましたが、放っておくというわけにも行かないと思いますが状態はどうですか。

【事務局】

このあたりの施策については私自身がどこから手を付ければわからないのが正直なところです。申し訳ありません。

【事務局】

県の担当主管課、市の環境衛生課との打ち合わせができていません。河川的环境に関しては大

和川、飛鳥川で一部取り組んでいます、一定の目標が設けられていないのが現状です。

【議長】

県土整備部とは仕事をしていますが、奈良県の県土整備部は意識が高いと思いますので、意見交換からスタートするのが良いかと思います。

私事ですが、車を2台所有してまして、そのうち1台がハイブリッドでもう1台は軽のガソリン車ですが実は軽自動車の燃費の方が良い。ハイブリッドという冠に惑わされず実際の燃費を良く考えることも必要です。

【委員】

新沢千塚エリアを整備していただきまして、ユネスコの研修を歴史に憩う橿原市博物館で行いました。雨で散策ができなかったのですが、ここは駅から遠く、バスの本数も少ないので、自家用車の利用が多くなると思われますので、ミチモの利用やシェアリングを関係課と調整してください。

【事務局】

委員のおっしゃるとおりということでミチモのエリアには入っています。ミチモはエリアが限定されているのでそれを超えると戻るようナビゲートされます。また、電気自動車の充電器も整備されています。橿原市には現在昆虫館など6箇所の普通充電器があり、公共施設には設置していただいています。

【議長】

施設の利用料金が安くなるころまではできていませんね。ドイツではサッカー観戦のチケットに電車代を含めています。チケットを買えば電車が只になり、電車を使わなければその分損をするようになっています。そのような形で公共交通機関の利用を促すようになっています。施設とのタイアップでミチモや公共交通機関が割安になるようなご検討をしていただきたい。

【委員】

プラスチック類の再利用と廃棄時の処分についてチップ化して効率よく熱を利用する技術が発達していると聞いています。

橿原市は細かい分別がないので、プラスチックから熱を取り出すというところまではできていないと思いますが、現状を教えてください。

【事務局】

橿原市の焼却施設は発電できますので、廃プラスチックを分別するより発電用として、一緒に焼却しています。その方がコスト面でも有利になります。

【委員】

熱利用は？

【事務局】

クリーンセンターの隣のシルクの杜という施設に熱供給も行い、また収集担当課のお風呂に熱を使っています。

【委員】

自治会で粗大ごみ置き場の担当をしている時に、木やプラスチックも一緒にパッカー車に入れると一瞬で粉々になるのを見ました。そこで思ったのですが、粉碎したものはすべて焼却となりますか。

【事務局】

粗大ごみの処理についてのご質問ですが、すべてをパッカー車に入れるわけではなく、不燃物は分けて収集し、資源化しています。水銀等有害物質を含むものについても分けて収拾しています。普通の大型ごみはパッカー車に入れて粉碎します。パッカー車に入らないものはそのままリサイクル館に持ち込み、大型の破砕機で細かくした可燃物をクリーンセンターに持ち込んで焼却しています。

粗大ごみ置き場の中で分別をしていますので、そのご協力をお願いいたします。

【委員】

粗大ごみを出す時には自治会の皆さんも分別して出しますが、パッカー車に入れているところを見たのでお話をさせていただきました。

【事務局】

自治会の方に分別を協力していただいている自治会と市との共同事業であると私共は認識しておりますので引き続きご協力をお願いいたします。

【議長】

今のご意見から自分たちが出したごみがどのように処理されているのかを市民ひとりひとりに理解していただき、どのようにごみを出せばよいかを考えられるようフィードバックできるような啓発の仕方が必要かと思いました。

あと、昔ながらの知識で考えられているのが雑紙で、現在では雑紙もいろいろな形でリサイクルできるようになっていますが、紙はきちんと分別しないといけないと思い込んでいる人が少なからずいますので最新の情報を市民に提供していただきたい。

【事務局】

ありがとうございます。樫原市では廃棄物の減量等審議会をおこなっていきまして、今おっしゃった紙類の資源化についての情報をもっと発信すべきという意見をいただいています。雑紙回収のモデル地区を作ってみたところ、雑紙も相当量が集まることがわかりました。また、可燃ごみの中には紙類が 40%を占めていますので分別を進めればごみを減量できますので事務局としても周知が必要と考えます。環境衛生課で実施しています集団回収の報奨金にもつながりますので自治会との間でウインウインの関係ができると考えます。

【議長】

ありがとうございます。ちなみにですが、午前中に宝塚市で仕事をしていましたが、宝塚市ではごみのアプリを作成しています。ごみのカレンダーが載っていきまして、いつどのようにごみを出すかがスマホでチェックできる、またアラームで知らせてくれるようになっています。若い方には広報よりもアプリで知らせる方が高い効果を得られると思います。

【事務局】

ありがとうございます。樫原市では今現在そのようなアプリの作成をおこなっていきまして、今年度末を目処に配信するよう調整中です。

【議長】

環境保全につながりますのでよろしくお願いいたします。

他いかがでしょうか。よろしいですか。

私から 2 点、企業連携を進めていただきたいと思います。私がお手伝いしている赤穂市は企業の環境取組の協議会を作っていきまして、企業間で連絡を取り合っています。環境市民会議の中に事業者も入っていただいて市民と共に環境に取り組もうとしていますので、樫原ももっと企業とのタイアップを進めていただくと良いかと思います。赤穂市でも環境にやさしい企業を登録する制度ができていますが、赤穂ロイヤルホテルが環境にやさしいホテルをアピールしたいということで協力してくださっています。このホテルでちょっと HP を確認しましたが、あまり環境のアピールは無い様に見えます。このホテルも「環境にやさしい」をアピールしていただけたらと思います。下にあるレストランは地産地消で環境にやさしいと言えますが、上も頑張っていたきたい。

【事務局】

上の方もバイキングで地産地消のメニューを提供しているようです。

【議長】

この建物全体が環境のモデルとなるようになればうれしいと思います。

もう 1 点、今水害で災害ごみの問題がありますが、大規模な災害が起こると一瞬にして持って

いるものがごみになってしまう。物を持たない生活がごみを減らす、特に災害時には有効であるというアピールもあっていいように思います。物を貯める蓄財することは見方を変えればごみをためているといえますので、シンプルな生活がスムーズな災害復旧をもたらすことも頭に入れたアピールも考えていただきたい。

他いかがでしょうか。

【委員】

樫原市さんは自然環境や生物多様性、町並保全などは優れていると思いますが、省エネ、ビルなど新しい建物の省エネという部分において物足りない。この建物も正直なところ残念に思います。新庁舎には期待しています。

フロン関連がD評価に下がっているのが気になります。温室効果がかなり高いものですので、意外と盲点になりがちですが、これから厳しくなりそうですので注意していただきたい。

【議長】

今日の午前中の宝塚市では環境の担当者が子ども達を巻き込んで「古い冷蔵庫を探せ」というゲーム感覚で参加できる企画を実施したと聞いています。こういう楽しみながらできる活動を企画していただきたい。

【事務局】

その取組はご家庭で古いものを探すというものですか。

【議長】

そうです。自宅やおじいちゃんおばあちゃんの家で古くてフロンが使われているものを探し出そうという取組です。

他いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは市民協働プロジェクトの取組について事務局から報告をお願いします。

【事務局】

■市民協働プロジェクトの取組について報告

【議長】

ありがとうございます。いかがでしょうか。

出前講座のメニューを示していただけていますが、実際にお呼びがあったものはどのくらいですか。

【事務局】

29年度は8件ありました。うたごえ喫茶ひまわりが人気で、歌ったあとに環境の話をしてい

ただいているという内容です。

【議長】

私も地球温暖化防止活動推進センターとタイアップして温暖化防止の研修をおこなっている中で「環境」と言わない、表に出さないのが良いのではないかという話をしています。そういう点でこのうたごえ喫茶ひまわりというのは楽しんだあとにちょっと環境という内容なので、楽しみながら環境の広がり期待できるものと思います。

他いかがでしょうか。

【委員】

出前講座の相手は自治会中心ですか。

【事務局】

今お話に出ましたうたごえ喫茶ひまわりは主に自治会さんからの依頼になりますが、温暖化の話などは放課後学童クラブさんからの依頼が増えてきています。今年はまだまとめていませんが、3～4件依頼がある状況です。

【委員】

私は学童クラブの方とお話会をする機会がありますが、特に夏休みは子どもたちが、1日いるので、日々のメニューを考えることが大変と聞いています。何箇所か実施しているということは学童クラブ間で口伝えで広がっているのだと思いますが環境衛生課さんからもアプローチしていただきたい。学童には子どもがたくさんいますので、環境への関心を高める取組として期待しています。

【事務局】

こちらのメニューは地域協議会の団体様が実施してしまして、お忙しい団体もありますが、できるだけご希望に添えるように努力いたします。

【議長】

こういう所に派遣する人を養成することも必要です。今いる人だけでは大変なところもあるので動ける人を増やすことも考えてください。

【委員】

京セラでの太陽光パネルが20年経った今も効率が落ちていないと報告がありましたが、前にも審議会で発言しましたが、24年から28年までに奈良県で60haの発電設備ができ、早くから稼働している設備は10年近くが経ちました。その耐用年数は20年と聞いていますが、これから破棄していくにあたって10年後には大量に出ることになります。不法投棄する業者も出てく

るのではないかと心配しています。

【事務局】

耐用年数が 20 年と言われていますが、20 年経ったものでも発電自体は効率が落ちず、パネルについてはさらに長い期間使用できそうだとということになります。しかしながら、付帯設備についてはパネルよりも劣化が早く廃棄物として出てくることになります。

【委員】

メーカーによっても変わりますね。橿原市内では大きなものは少ないと思いますが、懸念材料ではあります。

【事務局】

今後そのような問題が出てくるとしますので、検討してまいりたい。

【事務局】

廃棄についてのガイドラインが環境省から出ていますのでそれに基づいて進めていくことになります。

【議長】

10 年というのは意外とすぐに来ますのでしっかりとした対応をお願いします。

【委員】

メガソーラーは橿原市内にありますか。

【事務局】

橿原市内ではメガクラスは無かったように思います。

【委員】

というのも今の水害ではソーラーの問題が取り上げられていますし、固定価格の買取が終了し始める時期でもあります。それと廃棄の問題。これには指針が出たもののあまり動きが無い状況です。大きなものは特に対策が必要で全県的な問題です。

もうひとつ、高齢化という問題があります。会長にも日ごろからコツを伺っていますが、楽しみながら勉強できるという手法による広がりが必要かと思います。

奈良市と生駒市には ECO キッズに参加していただいています。橿原市にも参加していただき、子ども達へのきっかけ作りを行なっていただきたい。若い人が活動を始めると年配の方も活性化されますのでぜひともお願いしたい。

【議長】

子どもというのはこれからの大きな鍵になりますので、私からもお願いしたい。

他いかがでしょうか。

私から1点。悩ましいところではありますが、省エネキャンペーンを実施したときに物品の配布を行なっていますが、物品は最終ごみになりますので物を配ることが良いかどうか。環境の側面から考えるとご配慮いただいてもいいのではないのでしょうか。

他いかがでしょうか。

市民協働プロジェクトも引き続き頑張っていたいただけるかと思います。

予定していました案件はすべて終了しましたが、全体を通してあるいはその他ご意見ございませんでしょうか。

それではこれで終了いたします。ありがとうございました。

【司会】

皆様には長時間にわたるご審議いただきましてありがとうございます。これをもちまして平成30年度樫原市環境審議会を閉会いたします。ありがとうございました。